



《発行所》

青山同窓会

〒951-8127 新潟市中央区開原下川原町2-635

新潟県立新潟高等学校校内

TEL 025-266-5268

FAX 025-266-5268

《編集・発行人》

長谷川 義明

《印刷所》

株式会社第一印刷所

〒950-8724 新潟市中央区和合町2-4-18

TEL 025-285-7161

FAX 025-282-1776

ご挨拶

青山同窓会会長

長谷川 義明 (61回)



東日本大震災と名付けられた震災被害の状況は、刻々と実況のTV報道が繰り返し行われ、その巨大な津波の猛威、すべてを破壊する力の大きさにはただただ驚くのみでありました。時間がたつにつれてますますその被害の甚大さに気づかされ、福島第一原子力発電所の被害は人的制御が困難をきわめている状況にあることを伝えています。

約2万3千人超にも及ぶ死者、行方不明者を数える大災害であります。同窓生の中にも被

災された方々あるいはそのご縁に繋がる方々も多い事と思えます。被災者の皆様に心からお見舞い申し上げます。

1828年の三条地震に遭遇した良寛は、壊滅した三条の人々の死を悼み、「災難に逢う時節には災難に逢うがよろしく候。死ぬるときには死ぬがよろしく候。」と手紙に認めて居ります。まさに人の営みは大自然のそれにとつてのみしか有り得ないという老荘の思想の教えるところであり、亡くなられた方々の心に寄り添ってお慰めするには、大自然の道に沿うしかないのだ、それでよいのだと考えるしかないのだと思われたものでしょう。

日本には古くから天災はその時代の政治の乱れを諳るために天が下す罰であるという思想が

あり、災害の状況を詳しく記録し報告することによって対策を講じてもらうという仕組みがありました。そのため1500年も前からの長い災害の記録が残されており、貴重な災害分析資料となっています。すなわち、地震が同じ地域で周期的に繰り返し発生することなどが知られています。地震発生のメカニズムはいまや太平洋海底のプレートが移動して日本海溝に沈みこみ、地殻の変形の限度を超えて破壊が起こるといふプレート理論によって説明されていますが、この理論が確立したのはまだ半世紀ほど前のことで、東海、東南海、南海地震なども繰り返されていることは知られていますが、いつ、どのくらいの規模で、どこでなどの肝心な具体的な予測までは出来ていない状況であります。

まさに人智を超える想定外の大自然の営みに対して、科学的研鑽を深めると同時に、その偉

—新潟県立新潟高等学校創立百二十周年記念募金始まる—

青山同窓会では、母校後輩の学習環境の整備を目的に記念募金を開始いたします。皆様のご別なるご協力をお願い申し上げます。

- ◆ 期 間 平成 23 年 7 月～平成 24 年 7 月
- ◆ 目標金額 3000 万円
- ◆ テ ー マ 「21 世紀型学習環境の整備」—コンピューター化とエコ対応—
 - ・全国県立高校で唯一、全教室へのコンピューター・プロジェクター・書込み可能スクリーンの整備
 - ・教室の窓ガラスに遮光フィルムの貼付
 - ・自動カラー印刷、製本機の導入 他
- ◆ 募 金 額 1 口 5 千 円 (できれば 2 口 以上 お願い いた します)

同封の郵便振替用紙にて郵便局から払い込み下さい。

郵便振替口座：00590-1-61931

新潟高校創立百二十周年記念事業実行委員会

☆同窓会費納入のお願い☆

今回の「創立百二十周年記念特別号」は、全ての同窓生に送付しました。

これを機会に同封の郵便振替用紙で同窓会費（1口1千円、できれば2口）を振込み頂ければ、同窓会報を毎月お届けいたします。尚、会報は1月・7月の年2回発行です。よろしく願いいたします。

郵便振替口座：全日制 00650-7-4455 青山同窓会
 通信制 00530-1-74207 青山通教部会

大きに謙虚に対応する心も忘れてはならないものと思います。母校新潟高校は1892年(明治25年)7月1日に設置され、来年2012年には創立120周年を迎えます。明治24年に改正された中学校令に基づくもので、各府県は明治25年度中に必ず府県立の尋常中学校を1校設立しなければならなくなつたことによるものであります。新潟に置るか長岡に置くかなど激しい競争が行われたようですが、その経緯は青山百年史に詳しく記述されて居ります。同窓会では120周年を契機として、母校の今後のますますの発展のため、そしてより多くの有能な後輩たちを育てるために、学校側とともに120周年記念事業実行委員会を組織し、記念事業の企画を進めております。

青山120年史の編纂、同窓会名簿の発行、母校の教育環境整備事業の実施、記念講演、記念式典の挙行などであり、これらの各事業についてはそれぞれに困難な作業や資金を必要と致しますが、どうか同窓生各位のご理解を頂き、温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

『青山百二十年史』刊行のお知らせ

先に「新潟高等学校創立百周年記念実行委員会」が発行しました『青山百年史』は、940ページ余、編纂には膨大な作業、5年の歳月を要した校史で、文字どおりの新潟中学校、新潟高等学校の「正史」です。その刊行後も、同窓の皆様のお求めの声が多く寄せられましたが、お応えできずにおりました。

そこでこの度、新潟高等学校創立百二十年を記念し、『青山百二十年史』を刊行することとなりました。通信制課程の閉課程の記録を含め、その後の20年を追記するものとなるように企画いたしております。

刊行は平成25年2月頃を予定しております。時代の変化、要請もあり、「通史」・「資料」を収めるCD-ROM版と、「通史」のみの書籍(2分冊で左CD-ROM付き)のものを御用意いたします。お送りいたします購入申込はがきにより、是非この機会に、お手許に1部をお求めくださるよう、御案内申し上げます。

◇ 青山学術文化講演会 ◇

主 催：青山同窓会

今年も新潟高校卒業生で、各界でご活躍の方々から講演して頂きます。なかなか聞けない話ばかりと思います。ぜひこの機会に母校見学を兼ねましてお越し下さい。皆様のお越しを心からお待ち申し上げます。

- 開催日 平成 23 年 11 月 12 日 (土) 13:30 ~ 16:00
- 会 場 新潟県立新潟高等学校 視聴覚ホール (駐車場はありません)
- 定 員 400 名 (一般市民の方々にも聞いていただきます)
- 参加費 無料



- 講演予定者
武藤輝一さん (55回)
 新潟大学名誉教授 (医師)
 演題「最近関心の持たれている幾つかの医療と医学教育」
 これまで新潟大学医学部外科学第一講座 (消化器・一般外科) 教授及び新潟大学長を務めました。最近関心の持たれている医療の幾つかについてお話致し、お聞き頂いた皆様のご意見を頂戴致したいと存じております。
- 恩田雅和さん (76回)**
 天満天神繁昌亭支配人・和歌山大学非常勤講師
 演題「落語にしひがし」
 この9月15日で開場5周年を迎える天満天神繁昌亭は、連日盛況が続き、大阪の観光名所の一つに定着した感があります。300年の伝統ある上方落語の魅力を、東西の落語を比較しながら考えてみます。

- お申し込み方法
 当日、直接お出でください。当日は満席になり次第締め切らせていただきます。

- お問い合わせ
 青山同窓会事務局 電話・FAX 025-266-5268
 E-mail niigata_aoyama@yahoo.co.jp

ご挨拶

PTA 会長 酒井 康弘 (92 回)



同窓会会員の皆様、はじめまして。本年度、新潟高校 PTA 会長を仰せつかりました酒井でございます。皆様には日頃より私たちの子供たち、新潟高校生徒のために、多大なるバックアップを頂き、たいへんありがとうございます。

まずは、この度の大震災により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、亡くなられた方々には、心よりお悔やみを申し上げます。

さて、この大震災で多くの方々が新潟に避難して来られました。新潟高校でも、県内学校施設の中でもいち早く避難所として青山会館を提供し、被災した透析治療関係者の方々を受け入れることとなりました。そのような状況の中、生徒たちは、自発的に青山会館の整理・清掃

平成 23 年青山同窓会新年会報告 東京青山同窓会新人歓迎会・講演会

濱藤 直人 (94 回) 校内幹事 櫻井麻利子 (94 回)

恒例の青山同窓会新年会が、2月17日(木)ANAクラウンプラザホテル新潟で開催されました。120名近くの方がおいでになり、大盛況となりました。初めに、長谷川会長が世界で活躍する青山同窓生に触れながらご挨拶されました。次いで、大滝新潟高校校長が、本校の近況を報告されました。その中で、昨年中国を訪れたり、アジアの留学生を迎えたりしたこと、3月にアメリカ研修を行うことなど、世界に触れる機会を作っていることを紹介されました。

6月17日(金)ANAインターコンチネンタルホテル東京にて表記の会が開催されました。新潟からは、長谷川義明会長、吉田徳治副幹事長、旧3学年より学年部長の阿部浩治、1組担任の永村邦栄、校内幹事櫻井の計5名が参加しました。会長、来賓挨拶の後、新人講演会として国際政治学者で新潟県立大学学長を務める猪口孝東京青山同窓会長(70回)より「今こそ未来を見つめて前へ！」と題してお話をいただきました。

新潟高校の生徒が、この大震災を乗り越える力になり、もう一度、東日本を、そして日本を作り上げていく人材に成長していつてくれるよう、私たちPTAも全力でサポートしていくつもりです。

最後に、出席した新人32名が壇上に登り、高山祐介君の首頭で校歌・丈夫を斉唱し、閉会となりました。卒業式からわずか三ヶ月ですが、東京の風に当たって少し大人になった新人119回生たちが温かく迎えられた会でした。

青山同窓会の皆様におかれましては、今後ともご助力とご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

また、百二十周年記念事業の計画などもお話しされました。その後、篠田新潟市長のご挨拶に続き、50回卒の上村先輩のご発声で乾杯となりました。いつもこのような同窓会の会合には本多孝さん(94回)のワイナリー「フェルミエ」のワインが並べられていますが、今回は乾杯の前に、本多さんからワインの説明があり、よりおいしくいただくことができました。

今回は、若い方や、司会をされた114回卒の宗村さんをはじめとして、女性の参加者も多く、終始和やかな雰囲気が進み

「力」とそれを支える自分の「志望や希望」が必要。「〇〇は強いが、△△はできません」では駄目で、ある程度色々なことができる「力」が求められている。人のやることなんて気にしない、KYなんて関係ない、自分の思ったとおりにやろう、失敗したらまたやろうという気持ちが大変。これがやりたいという「志望や希望」を見つけるには「勉強」すること。苦手を克服したときに初めて、他と比較して自分が得意なことが見えてく



同窓生訪問

敦井榮一さん(69回)を訪ねて

会報編集委員 坂井 奈津子(96回)

日本海と新潟市街が見渡せる朱鷺メッセ7階の新潟商工会議所にて、敦井さんにお会いしお話を伺う事ができました。

北陸方ス(株)代表取締役社長の敦井さんは、115年もの歴史のある新潟商工会議所第20代会頭に2007年秋、就任されました。以後4年間、行政と民間の中間の立場であり公平さが求められる組織において、リーダーシップを取られています。

そのような多忙な生活の中で、余暇を趣味で過ごす時間はあるのだろうか?と、お尋ねしたところ、歌舞音曲、ゴルフ、麻雀、全てやらないとのこと。それぞれ理由があつての事ですが、「音」に関して言うと、高校時代の音楽の先生が、何方月も歌のテストで合格させてくれた



「皆で連日遅くまで学校に残って準備した事が楽しかったなあ、優勝賞品のあんぱん3個が欲しくてね。」と懐かしく語られました。

2年生の時の修学旅行や名物先生の授業、体育館屋根の危険な雪下ろしを生徒でしていた

「皆で連日遅くまで学校に残って準備した事が楽しかったなあ、優勝賞品のあんぱん3個が欲しくてね。」と懐かしく語られました。

「卒業後も新潟高校との縁は深く、お子様2人の在学中はPTA会長をされ、また、現在は青山同窓会の副会長をされています。来年度に迎える「青山同窓会百二十年周年記念事業」では実行委員会事業部長として主に募金関係を担当して下さいませ。同窓生訪問のコーナーですが、募金の呼びかけをお願いしました。」

「卒業後も新潟高校との縁は深く、お子様2人の在学中はPTA会長をされ、また、現在は青山同窓会の副会長をされています。来年度に迎える「青山同窓会百二十年周年記念事業」では実行委員会事業部長として主に募金関係を担当して下さいませ。同窓生訪問のコーナーですが、募金の呼びかけをお願いしました。」

事、放課後のそば屋通い等々、楽しい思い出ばかりだそうです。先生方も生徒達の事をジェントルマンとして扱い、信頼して自由にさせていたし、生徒の側もその期待に添えてやっていたし、何をやっても許される時代で幸せだったとおっしゃっていました。

「募金で集めたお金は、母校の設備を良くする為に使います。後輩が学んでいる校舎の設備をレベルアップし、良い人材を育成するのが目的です。同窓会の力がある学校は、設備がど

「卒業して進学したあとは、新潟にぜひ帰って来て欲しい。新潟に生まれ育ったのだから良い所だと知っているでしょう。新潟に就職する事を第一に考えて下さい。我々も、君達が新潟に戻ってきたと思うような企業になれるよう努力します。だから、若い人たちが新潟に戻ってきて一緒に手助けして下さい。」

「卒業して進学したあとは、新潟にぜひ帰って来て欲しい。新潟に生まれ育ったのだから良い所だと知っているでしょう。新潟に就職する事を第一に考えて下さい。我々も、君達が新潟に戻ってきたと思うような企業になれるよう努力します。だから、若い人たちが新潟に戻ってきて一緒に手助けして下さい。」

東北青山同窓会の設立総会に向けて準備を進めていた矢先、千年に一度といわれる大震災が発生し、東北地方の太平洋岸は極めて広範囲にわたって壊滅的被害を受けました。

「卒業して進学したあとは、新潟にぜひ帰って来て欲しい。新潟に生まれ育ったのだから良い所だと知っているでしょう。新潟に就職する事を第一に考えて下さい。我々も、君達が新潟に戻ってきたと思うような企業になれるよう努力します。だから、若い人たちが新潟に戻ってきて一緒に手助けして下さい。」

震災後の被災地は、想像を絶する光景でした。真つ二つに折れて横たわる電車。アパートの窓に突き刺さる杉の大木。道路脇の船、屋根の上の自動車、海の中の住宅、電柱の上の漁具など、本来とは異なる場所にあるモノの数々。瓦礫だけの街並みを、まるで空襲の後のようだと表現した人もいました。

震災後の被災地は、想像を絶する光景でした。真つ二つに折れて横たわる電車。アパートの窓に突き刺さる杉の大木。道路脇の船、屋根の上の自動車、海の中の住宅、電柱の上の漁具など、本来とは異なる場所にあるモノの数々。瓦礫だけの街並みを、まるで空襲の後のようだと表現した人もいました。

復興に向けて一歩ずつ

教育実習を終えて

大きな愛

教育実習生 国語科 小畑しおり (116回)

新潟高校に教育実習生として3週間過ごし、実際の教育現場でなければ分からない、多くのことを学ぶことができました。特に大きな実感を伴い、分かったことは新潟高校の先生方の、新潟高校の生徒たちへの「大きな愛」です。

私は国語科の教育実習生として古典と現代文の授業を担当しましたが、こんなにも「教える」ということが難しく、根気のあるものだとは思いませんでした。先生方はその難しさと根気強く向き合い、教科書の一字一字を見逃さない徹底した予習と、生徒が授業で分かりやすく理解できるよう様々な工夫を凝らすことで、素晴らしい授業を毎日展開しているのです。まだ私が生徒だった時には、授業をするために先生方がこんなにも労力と時間をかけているとは全く分かりませんでした。しかし、教育実習生という立場から、今回それを目の当たりにすることができました。



青陵祭 (H 23.6.11) 連合対抗リレー

このように毎日授業に臨んでいる先生方の全ての原動力は、生徒たちに対する「大きな愛」なのだと思います。それが実感として感じられた時、今更になつて自身が生徒だった時も同じように先生方に愛ある指導をしていただけたからこそ、充実した学校生活を送ることができたのだと、感謝の気持ちでいっぱいになりました。また、その愛を在校生のみならず、卒業生である私たち教育実習生にも注ぎ、心のこもった指導をしてくださいました。母校である新潟高校で教育実習ができたことは、本当に幸せでした。先生方、生徒のみならず、本当にありがとうございます。ありがとうございました。

理科(物理)の教育実習生として2週間の実習を終え、今は達成感と充実感、それから、新潟高校の先生方や生徒の皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいです。私にとってこの2週間は一生忘れることのない期間だと思います。この2週間の実習で私は様々なことを感じました。一つ目は新潟高校の生徒の素晴らしいパワーです。新潟高校の生徒は皆、ひたむきに努力することを怠りません。授業や部活動、学

新潟高校での教育実習を終えて

長井 遼 (116回)

校行事に対する姿勢は真剣そのもので、その生徒の姿が私たちの力の源になっていることを強く感じました。また、そんな生徒たちが成長していく姿を見届けることができる「教師」という職業の素晴らしさを知りました。

二つ目は先生方の努力と情熱についてです。先生方の授業に対する熱意や、生徒を思いやる気持ちには正直驚かされました。1回の授業も無駄にすることなく、毎回毎回魅力的で深い授業を展開していく先生方には感服しました。さらに、先生方は授業だけではなく、部活や学級運営などにも全力を注いでいて、生徒たちはそんな先生方をとて信頼していました。また、生徒だけではなく私たち実習生への対応もとても熱心であたたかく、お蔭様で非常に充実した実習となりました。

私はそんな素晴らしい環境の中で教育実習を行えたことをとても嬉しく思います。この実習で得たかけがえのない経験を活かして、これからも日々精進を続けていきたいと思っています。

同期会報告

青山六十一回同期会

「喜寿の会を終えて」

小杉 秀一 (61回)

時の流れは早いものです。昭和28年に卒業してはや58年の歳月が流れ過ぎました。一昨年55周年記念同期会を湯田上温泉ホテル小柳に開催した折、寄る年波を考えて、58周年の喜寿の会をもって、東京・新潟合同の催しは、そこで最後にしようと思えました。

幸いにおひとり残られた大橋禎助先生は、本年米寿を迎えられ益々ご壮健でいらつしやいます。相変わらず囲碁道場の主として、私ども同好の徒をコテンパンに可愛がってくれています。おおよそ40人位を想定して準備を進めていたのですが、東日本大震災の二次災害である風評被害を跳ねとばそうと檄をとばしたところ、五割増の60名の参加を得て、6月5日、6日越後湯沢温泉ホテル双葉で開催しました。

当日受付前から囲碁サロンを開設したら、大竹勝五郎アマ七段を筆頭に、腕自慢が大拳15名の参加となり、前座を楽しんで

もらいました。また、本番受付と同時に、参加者の増加益から八海山本醸造四合瓶と、熊谷隆幸さん提供の甘煮ピーナッツを全員にプレゼントしました。

懇親会は、江口良助新潟代表幹事の開会宣言に始まり、浅見昭夫東京代表幹事・長谷川義明新潟幹事代表の挨拶のあと、大橋禎助先生に永年のご指導・ご交遊に対し、感謝状とご所望の急須を贈呈させていただきました。

藤良介さんの娘婿境川親方（元小結両国）から提供された、力士の浴衣生地四反をもとに、渡辺秀英先生の短冊（湊秀平・今井晃両氏）、越後ワイン（齋藤義明さん）寒梅・雪中梅・メ張鶴の新潟銘酒と純植物性ハンドクリナー（小生）などを急遽かき集め、飛び入り企画を外れ籤なしで楽しんでもらいました。

現役の第一線をほぼ退いたメンバーの最後の合同同期会というところで、ひとしお感慨に耽った交換の場となりました。うか。最後に恒例の応援歌の合唱は、関根理さんのリードで大いに歌いまくりました。

翌日の観光コースには想定外の21名が参加して、小出の西福寺開山堂「石川雲蝶の彫刻」、塩沢「王踏んだかの雲洞庵」（住職青山56期卒の新井勝龍師）、「味噌なめたかの関興寺」などを、ガイド付き観光バスで楽しみました。

わが期は長谷川義明同窓会長を送り出してありますが、高橋照・岸田哲男両君を鬼籍に送ったあとも、通称エロちゃんこと江口良助代表幹事の明るく暖かいリーダーシップのもとで、これからも楽しい新潟地区同期の集いを重ねて参ります。

選んだ宿の湯沢温泉ホテル双葉は、県内第一位の繁盛店の名

に恥じず、施設と料理ともなしの心等々、この大災難の時にも拘わらず一人勝ちの様子もむべなるかな、元氣印ここにありと一筆啓上し、辛口から宣伝係に変じてペンを置きます。

「喜寿の会
記念ゴルフ大会」

加藤 榮一（61回）



「ゴールド越後湯沢C」は、新緑春風微風、気温23℃の絶好のゴルフ日和でした。

参加者はピーク時の40名に比べ、大幅減少の16名でしたが、「東日本大震災」を仙台で遭遇し、頑張っている倉茂周典君も「青山魂」を發揮し参加され、かつて、東京地区幹事の故長橋君、金子夫妻や猪間君、大倉君、新潟勢では木村警君、奥村君、石井壯一君など名手の不参加が惜しまれました

が、参加者一同はそれらの方々の懐かしい思い出を語り合いながら、陽春の一日、生涯最後？の意味合いをも込めたコンペを存分に楽しみました。

競技はベリア方式のハンディに恵まれたネット71,8の私に、加藤榮一が優勝し、ベストグロス賞は84の佐々木繁君、ベストハンディ賞は8の木村昇君が獲得し、故障者は無く、「喜寿」

の祝い元氣澁刺、楽しい想いの出を作って散会することが出来ました。

参加した精銳は浅見昭夫・安宅久憲・大橋恒夫・風間博・木村昇・倉茂周典・小林元雄・佐々木繁・竹尾昇・田中忠夫・鶴巻正義・長谷川義明・藤田太郎・湊秀平・村山健君と私、加藤榮一の計16名でした。

震災の被災者に献杯の後、和やかに懇談。久しぶりに会い、名前も忘れた諸兄のために相互に自己紹介。ほとんどの同期生がリタイヤしている中で、中野で小児科医を営む者や、大学教授、出版業者、さらには小生のような自営業者等、現役で頑張っている者もいました。

銘酒・土佐鶴や、いいちこの古酒や紹興酒等を痛飲。酔うほどにテンションも上がり、参加者の近況や、高校時代の思い出話に花を咲かせました。

さらには、女性2名も出席し、花を添えてくれました。

何はともあれ、仙台等、東北関東在住の同期生の皆さん全員が無事を喜び、杯を酌み交わしました。

最後には、自然に「ますらお」、「玲瓏の天」等の応援歌を斉唱。一本締めで、会を終了。三々五々、幾分、明かりが消えている町を後にしました。

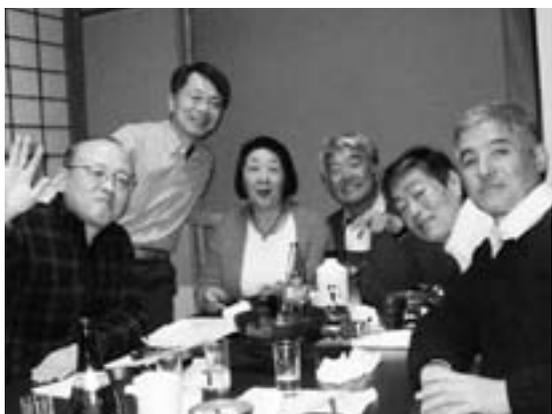
最後に、

当日、参加者から、幾分、大目に会費を徴収し、被災地に在住し、何かと不自由な生活を余儀なくされている同期生諸兄に、見舞金を送りました。

72回・在京青山有志同期会

渡辺 毅之（72回）

4月4日、東京・神楽坂の老舗料亭「鳥茶屋別館」で、在京の72回青山同期生有志が集まり懇親会が催され、小生、新潟から桜が満開。入り組んだ路地の奥にあるこの茶屋（料亭）趣がありましたね。



茶屋の和服のお姉さん方に案内されてお座敷に。当初、7、8人の参加予定が、当日には20人弱に！さすが青山ですね。

お互いに年は幾分取つたものの、見覚えのある顔ぶれに懐かしさを感じました。

震災の影響でキャンセルが出てこの茶屋、3倍弱に増えた同

青山同窓会の風が 白根大風合戦の大空に舞う

風合戦協会巻風組 青山会

笹川 薫 (通37回)

今年から青山同窓会の風を揚げることになりました。絵柄は、

なお、青山会では随時会員を募集しています。風合戦の魅力

す。風作りは、3月からかかり始め、60枚の風を作り合戦に臨みました。

今年は、日本にスキーの技術を伝えたレルヒ少佐に、日本古来の武士道的合戦だと激賞され、優勝旗を寄贈して頂いてから百年という記念すべき年に、青山同窓会の風が大空に舞い上がりました。また、白根大火の際に焼失した優勝旗を忠実に復元し、今年の風合戦はその優勝旗をかけた戦いです。初日はレルヒ少佐の母国オーストリアの大使ご夫妻が観戦されました。

期間中、平日の参加者が少なく大変でしたが、同窓会の方々の応援や差し入れなどで、とても力づけられました。来年は120周年記念の風を揚げようと思っています。

お問合せ先 笹川 薫
TEL 090-6272-7939
E-mail takokichi2772ks@kub.biglobe.ne.jp



O B 会 報 告

平成23年度青山野球倶楽部総会兼 新入会員歓迎会

事務局 白井 行雄 (79回)

3月23日(水) 18時00分より、



恒例の総会兼新入会員歓迎会が、新潟駅前クオースビル3階「ロンドン亭」で開催されました。参加者は高校側から佐久間俊監督、間健太郎部長、OB会員17名、新入会員15名の総勢34名で、東日本大震災で亡くなられた方々に黙祷を捧げた後に開会しました。

湯浅一平会長からは「大震災で中止も検討しましたが、輝かしい未来のある新会員を受け入れる歓迎会を粛々と開催することにしました。皆さんは82回全国選抜高校野球大会21世紀杯にエントリーされ、誠に残念ながら補欠校となりましたが、甲子園に行けるかもしれないという、夢と希望の実感を我々に与えてくれました。その実感を後輩たちに伝えてほしいと思います。短い練習時間にもかかわらず文武を両立し、皆で一つの目標に向かって野球を3年間続けられてきたことに敬意を表します。今後は青山野球倶楽部の会員として、仲良く会の運営に協

力してください。」という挨拶の後、平成22年度の活動が報告されました。

第48回青山野球倶楽部ゴルフコンペは大塚忠雄氏(77回)、第49回は高橋昇氏(73回)の優勝に終わったこと、平成22年8月15日の第34回青山葦原定期戦(新潟商業高校野球部OB会と共催、硬球使用)は現役戦が2対1、OB戦が8対5のいずれも青山の勝利、終了後ホンマ健康ランドで行なわれた懇親会に青山12名、葦原9名が出席し盛大に行われたこと、同年8月13日・14日に行われた第35回県高校野球OB大会(ハードオフエコストadium)は2回戦敗退を喫してしまつたこと等でした。

今回は役員改選の年に当たります。審議の結果、湯浅一平会長(63回)、高橋昇副会長(73回)、鈴木正博副会長(76回)、大塚忠雄幹事長(77回)、渡辺国夫(72回)・小沢謙一(93回)両会計監事、白井行雄事務局長(79回)の留任を決議しました。

平成23年度事業計画案について審議が行われ、第36回県高校OB野球大会(8月12日・14日鳥屋野運動公園野球場、ハードオフエコストadium)に今年も参加、8月14日(日)に第35回青山葦原定期戦をハードオフエコストadiumで実施することと

しました。硬式ボールを握ってプレーのできるこの両大会に、多くの会員が出場しますようよろしく願いたいと思えます。その他、7月3日(日)に第50回記念青山野球倶楽部ゴルフコンペ、10月29日(土)に第51回を計画しました。

7月6日(水)17時30分から、夏の大会を目前にひかえた現役選手の激励会を計画しました。平成23年度予算案では、母校助成費75万円を決議し、悲願の甲子園出場を支援していくこととしました。春季県大会ではベスト16に進出していますので、夏の大会も大いに期待したいと思います。

新入生歓迎会では、先輩会員全員から新入会員に励ましの言葉が送られました。伊藤光甫主将をはじめとする新会員からは、「このような激励会をやっていたら、また現役時代にいただいた先輩方の物心両面の支援に感謝いたします。これから青山野球倶楽部と後輩たちができることを、しっかりやりたいと思います。」という謝辞と決意が述べられ、最後に全員で「丈夫」を歌い、散会しました。

青山ソフトテニスクラブ

山崎 一正 (78回)



当OB会は大正13年の発会と言いますから、歴史が旧く名称が数回変わっています。青山庭球倶楽部、青山庭球クラブを経て、現在は青山ソフトテニスクラブですが、ソフトテニス協会には青山クラブとして登録しています。

毎年8月14日にソフトテニスを楽しむ会と称して総会を開催します。会員名簿には509名が載っています。開催案内の発送に一苦労。お盆の用事や仕事の都合で出席出来ない会員もいますが、この日程は不動の日と決めています。『8月14日に母校のテニスコートに集合の通知は不要と思われませんが、会費の入金依頼や近況報告を兼ねて発送しています。当日は80名程が全国から集まります。総会といっても議案書がある訳でもなく、会計報告に賛同してもらって直ぐに終了します。会費と寄付金は、事務費を除いて殆どが生徒部活費の援助金となるので、至極簡単です。後は年齢を忘れ、現役高校生を交えて競技に一

日没頭します。旧友の顔を見に来る者、妻子や孫を連れてくる者、『互いに老けたけど変わらなないなあ』の挨拶が交わされま

す。その夜は会場を移しての宴会となります。石崎和美先生・渡辺寛先生・高木睦弘先生、部活顧問の阿部浩治先生・室本明先生ほかにご参加頂いています。平成22年は生憎雨模様で、

体育館をお借りしてプレーを楽しんだが、今年是非晴れて欲しいと思います。

近年は高校生も社会人も試合会場は人工芝での試合です。母校のクレーコートをおムニ(人工芝)に改造する手段を模索したいとOB会幹事は考えています。

(写真は平成22年度総会)

青山バドミントンクラブ活動報告

高橋 裕之 (84回)

当クラブの一年間の活動は、主に春の『総会』、夏の『納涼バーベキュー大会』、冬の『年末の集い』である。

会員数も300名を越え増加する一方であるが、ここ10数年は20代〜40代の働きざかり?の会員のイベントへの参加や年会費の納入者が少なくなってきた

め、入部時よりは上達するものの、なかなか上位入賞は難しい状態にある。

当クラブは会員同士の交流と現役生のクラブ活動の支援を目的にしている。毎年、会費収入の半分にあたる量のシャトルを提供し、若手OBが休日を返上して現役生との練習に参加している。また、交流会である納涼バーベキュー大会を企画運営している。それにもかかわらず各種案内に対する返信や反応が少なすぎる。参加しやすいように考えてはいるが実績が伴わない。このままでいけば、当クラブの活動もいづれはいきづまると私は思う。

創設期の20年は比較的经验者が多く入部したため、インターハイ出場や各種大会でも上位入賞の常連であった。次の20年は過渡期でインターハイ出場などレベルの高い時期とそうでない時期を繰り返した。最近の20年は未経験者が多く入部するた

実は今年が創部60周年という記念の年である。これを聞きつ

けた東京在住の若手メンバーが、企画立案に声をあげてくれた。とても喜ばしいことである。先日趣意書が送られてきたが、青山バドミントンクラブであること、自覚、ふるさと新潟のネットワーキングの大切さやよき相談相手としてのOB、OGの活用、60年の人的絆等の確認。開催の意義はとても大きい。

これを契機に、当クラブの活動がより活



発になり、会員同士の交流も盛んになることを強く望むし、60周年の記念行事には多くの

方の参加をお願いしたい。(2011年10月頃開催予定)

剣道部OB会 平成22年度の活動報告

青山剣友会 事務局代表 町田 一越 (95回)

1. 総会 平成22年8月14日午後5時からイタリア軒で開催さ

れました。村島会長の挨拶で、剣友会活動の紹介や午前中の稽



古会の感想及び日頃からの同窓会への思いが語られました。ご来賓の青山同窓会・長谷川義明会長(61回)から挨拶を頂戴し、ご自身も運動部ご出身である経験からスポーツの良き、特に剣道の息の長さ(高校卒業直後の大学生から80才代の大先輩まで直接剣を交えることが出来る)を称えるコメントをいただきました。総会議事に入り、まず会計委員の小柳貴裕氏(99回)から平成21年度決算説明が、続いて会計監査の松本一志氏(94回)による監査報告があり、承認されました。任期満了に伴う役員改選は、村島会長・吉田副

道に対する思いを募らせ、近年市内道場にて稽古を始められ、今年初段を取得後青山剣友会の門を叩かれ、7月の合同稽古から参加いただいています。堀氏を始め新入会員の大学1年生などフレッシュな顔ぶれあり、20数年ぶりという久しぶりの参加者もあり、総勢26名の少人数でしたが美味しい生ビールを酌み交わしながら和やかに親交を深めることができました。最後に、剣友会応援団長の宗村信明氏(88回)と、終了間際に駆けつけられた坂上嗣明氏(83回)の応援指導で母校発展の願いを込めた「丈夫」の合唱で、盛会の

うちに締めとなりました。また同日午前中、OB・母校現役剣道部員による合同稽古が新潟高校剣道場で行われました。連日の猛暑が続いているなか、1時間たっぷり汗を流しました。大先輩から大学生まで、いつもながら気合いの入った稽古が繰り広げられました。2. 新年会 1月2日、平成23年新年会が新潟市のイタリア軒にて開催されました。23名の会員が集い、和やかに新年をお祝いしました。冒頭村島会長(52回)から挨拶があり、旧年中の母校及び会員の活躍や、会報にいただいた通信等のご披露がありました。会を継続し、歴史を積み重ねて発展させることで母校の励みにしたい旨、お話がありました。就任4年目の望月雅之監督から新潟高校剣道部の近況をご報告いただき、やる気に満ち、徐々に結果を出し始めている母校部員の活躍に頼もしいと期待を感じました。昨夏の審査で見事剣道7段に昇段された玉井英資氏(97回)に、村島会長から記念品が贈呈されました。続く懇親会は、関崎顧問(45回)の乾杯ご発声で開宴しました。若手会員による進行で恒例のアトラクション・ビンゴ大会を行い、参加者全員が「新年初当たり」景品を獲得しまし

会長・萩莊副会長のそれぞれ2期目の統投が満場一致で承認されました。引き続き、関崎睦男顧問(45回)の乾杯の音頭により懇親会となりました。今年度の新入会員として今年卒業生7名の他に、堀直規氏(75回)が途中入会され今回総会に出席されました。堀氏は高校時代に、剣道部入部が叶わなかったものの、剣道に対する思いを募らせ、近年市内道場にて稽古を始められ、今年初段を取得後青山剣友会の門を叩かれ、7月の合同稽古から参加いただいています。堀氏を始め新入会員の大学1年生などフレッシュな顔ぶれあり、20数年ぶりという久しぶりの参加者もあり、総勢26名の少人数でしたが美味しい生ビールを酌み交わしながら和やかに親交を深めることができました。最後に、剣友会応援団長の宗村信明氏(88回)と、終了間際に駆けつけられた坂上嗣明氏(83回)の応援指導で母校発展の願いを込めた「丈夫」の合唱で、盛会の

た。今回も全員からの一言スピーチで盛り上がりました。宗村応援団長(88回)の応援指導で母校発展の願いを込めた丈夫を合唱した後、吉田副会長(79回)の締めの挨拶でお開きとなりました。3. 母校剣道部とOBの合同稽古会 毎月1回、新潟高校剣道場にて現役生・OBを始め一般の参加で実施しております。22年度は4月17日、5月15日、6月19日、7月20日、8月14日、9月4日、10月9日、11月7日、12月11日、1月2日、2月6日に実施致しました。(3月は震災の影響で中止)

た。今回も全員からの一言スピーチで盛り上がりました。宗村応援団長(88回)の応援指導で母校発展の願いを込めた丈夫を合唱した後、吉田副会長(79回)の締めの挨拶でお開きとなりました。3. 母校剣道部とOBの合同稽古会 毎月1回、新潟高校剣道場にて現役生・OBを始め一般の参加で実施しております。22年度は4月17日、5月15日、6月19日、7月20日、8月14日、9月4日、10月9日、11月7日、12月11日、1月2日、2月6日に実施致しました。(3月は震災の影響で中止)

ボート部OB会

青山艇友会定時総会開催

渡辺 研二(75回)

青山艇友会は平成23年3月19日(土)、新潟市内の柳江苑で定時総会を開催。ほぼ一週間前の東日本大震災の影響を心配しましたが、同窓会から風間副会長、新潟県ボート協会の馬場会長、新潟県ボート協会の馬場会長のご来賓を迎え、顧問2名にOBを加え総勢16名の出席で行うことができました。総会は佐藤勝弘(65)艇友会長を議長として進行。報告事項、会則一部変更、事業・予算案等を審議し承認されました。今回

4. 会員の活躍 全国剣道昇段審査 平成22年8月に新潟で行われた審査会で、玉井英資氏(97回)が7段に、町田一越(95回)が6段に合格しました。また平成23年5月に京都で行われた審査会では、萩莊副会長(83回)が7段に合格、昇段ラッシュとなりました。第50回新潟県実業団剣道大会(平成22年11月23日)個人戦40歳代の部に出場の町田一越(95回)が2年ぶり2度目の優勝を果たしました。



も飛び出し笑いに拍手喝采。ますらお、「校歌」で締めのお開きでした。▼出席者16名 (同窓会副会長) 風間士郎、(県ボート協会会長) 馬場伸行、(顧問) 畔柳順一、(顧問) 佐藤弘明、(58) 加藤高弘、(62) 原正雄、(65) 佐藤勝弘、(68) 笠原紘洋、(75) 渡辺研二、(76) 大井峰夫、(78) 水沼真一、(79) 増井隆夫、(80) 桜井優、(80) 佐藤正昭、(89) 神林正浩、(93) 深井浩史 ■活動報告等 ▼OB現役懇親会を平成22年7月11日(日)に実施。高校生と



平成23年度フェンシング部OB会報告

石原 基規 (88回)

さる、平成23年2月26日、安兵衛古町店にてフェンシング部OB会を開催しました。新潟国体の影響もあり、1年間空いて

会は、加藤会長のあいさつで始まりました。昔話に花が咲く一方、現在の新潟高校のフェンシング部についても話が及びました。30数年前の私たちの時代も、数年にわたりインターハイで入賞者を出すなど、結構頑張りました。そして近年も連続して全国大会で入賞者を出しているとのこと

とで、黄金期といえるほどの活躍状況です。これは遠藤先輩(87回)を中心に、当時の選手たちがコーチとして、高校生を日々指導している賜物でもありません。以下遠藤先輩より近年の高校生の活躍が発表されました。平成21年度全国高等学校総合体育大会奈良県大会 女子個人対抗エペ 4位 宮川香奈恵選手

平成23年5月11日(15日)、新潟県民会館情報ラウンジにおいて、第3回書道部展が開催されました。書道部員は現在36名。3年生はこの書展を区切りに引退します。新1年生はまだ出品できませんでしたが、先輩の作品の表具など書展準備をしっかりと手伝い、部の一員として会場に立ちました。今年度は搬入日が平日で生徒は学校の授業優先の為、顧問の峰本義明先生(88回)と今年着任の小川貴史先生が作品運び込みました。先生方が学校へ

書道部展で報告

青山墨友会 小川 和恵 (101回)

このように全国的にも輝かしい活躍をしています。更に大きな成果を上げることができるよう、同窓会にもご支援いただけますこと宜しくお願いします。

の力が会場を埋め尽くし、入場者は5日間でなんと千余名。おかげさまで盛会のうちに無事終了することができました。たくさん励ましのお言葉を頂きました大滝校長先生をはじめ母校の先生方、旧職員の方々、御協力下さった皆様に心より御礼申し上げます。ありがとうございます。

特別寄稿

第31回 青山ゴルフ会

勝山 昇 (79回)

平成23年6月5日(日)、梅雨まえの清々しい絶好のゴルフ日和のもと、青山ゴルフ会が紫雲ゴルフ倶楽部にて40名の参加で開催されました。私の高校時代はテニスコートにいた記憶しかない3年間でした。そのテニスもたいした実績もなかったのですが、白球を追いかけた3年間はその後の人生に大きな影響と、掛替えのない恩師と友人を授けてくれました。その友人の代表格の廣嶋君から、青山ゴルフ会への誘いを受け、ゴルフ歴は多少あるものの、ここ数年は年に数ラウンドで全く自信のない中で今年の初ラウンドがスタートしました。前半のインコースは出だしから、まぐれとラッキーと奇跡が一緒にきたみたいパットを打てば数メートルのワンパット、林の奥から50センチの隙間を見事に抜けてナイスリカバリー、まるでビギナーズラックの如くうまくいき、5ホールまでパー





ブレイ、「いつまでこんなうまい話が続くのかな?」と思った6番からダボ、トリプル「やっぱり!」しかし前半の貯金を生かして42、初ラウンドとしては最高でした。

後半のアウトの1番、池ボチヤから3打目がピンそば50センチ「まだ神様がついている!」と思えたのも束の間、あとは腰と膝の痛みとともに奈落の底へ。あがつてみれば48、しかしダブルペリア方式のおかげで、バーデイありトリプルありのドタバタが、またまた奇跡のようにはまってしまい、まさかの個人優勝となりました。

先輩と後輩そして同期と、変に気を遣うこともなく和気あいあいと楽しい一日を過ごさせて頂き、誘ってくれた仲間はこちら

るん会員の皆さま全員に感謝したいと思います。

しかし団体戦は69期の連覇とすること、自信満々の優勝の挨拶を聞かされ、最多出場者数の我ら79期としては、是非とも団体

優勝を達成しなければ、この思いを強くしました。私も、次回また参加させて頂き今度はラツキーだけではなく、多少の神だのみと少しの実力で貢献したいと思いをしました。

5月26日、絶好の好天に恵まれた紫雲・加治川コースにて、67、68、69期の3学年対抗戦(21年の青山ゴルフ会で合意)を行いました。69期が第1回に続いて、今回もダントツ優勝、準優勝は引き続き68期でした。68期は東京から有力選手を補強したにもかかわらず目標達成に至りませんでした。68、69期が闘争心むき出しに戦いを挑んできたのに対し、67期はいつものメンバーで静かに大人らしく迎え撃ちました。67期はペリア戦にもかかわらず想定どおり大敗

「青山789会」
第2回3学年対抗コンペ
菅沼 重登 (67回)

夜行われたカラオケ大会でも69期が勝ちをおさめました。年代が近いにもかかわらず、3学年は少しずつ気風が違っているように思います。同じ学び舎で学んだ仲ですが、異質な同窓生が集まり、技を競い、プレーを

楽しめ、親睦を深めることは、こ

れからの老後人生にとつて大いに意義あることだと思います。折りしも新潟市から「介護予防のチェックリスト記入のお願い」なる書簡が送られてきました。市内在住のすべての65歳以上が対象で日常生活に関する25の質問に回答し、氏名・住所付きで提出するよう要求されています。(介護の個別管理か)

折りしも新潟市から「介護予防のチェックリスト記入のお願い」なる書簡が送られてきました。市内在住のすべての65歳以上が対象で日常生活に関する25の質問に回答し、氏名・住所付きで提出するよう要求されています。(介護の個別管理か)



優勝を達成しなければ、この思いを強くしました。私も、次回また参加させて頂き今度はラツキーだけではなく、多少の神だのみと少しの実力で貢献したいと思いをしました。

今後青山789会は対抗戦のみを目標とすることなく、互いに親睦を深め、啓発し合つて元気な老後を送り、社会の要請に応える会にしなければならぬと考える次第です。(これは67期敗戦の言い訳ではない)

末筆ながらすばらしい会をやってくれた坂爪幹事と田中

我々3学年はすべて65歳を超えており、今後社会保障財政を圧迫する問題の高齢者に該当しています。新潟県の人口に占める65歳以上の割合は26%に達し、間もなく30%へと、今や大きな社会問題

事務局長に心から感謝いたします。

参加者(16名)
67回 鍵富靖雄・白井 節・菅沼重登・戸松秀雄・星 允(計5名)

時間の経過は早いもので、もうすぐ還暦を迎える。大学生から社会人となり、あつという間に時が過ぎ去つてしまった。なかなか、時間が自由にならず、同窓会にも顔を出せないの、OB会の活動報告というわけにはいかないが、私の近況について報告したい。

大学を卒業して東京都庁に入り、約20年の役人生活に終止符を打つてから15年がたとうとしている。主に主税局(酒税局ではない)で、都税に関する仕事をしていた。

近況報告
篠田 敏朗 (78回)

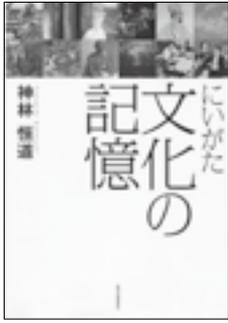


30歳過ぎで人並みに結婚した。これがその後の面白い人生の始まりだった。平凡な都庁職員と八王子市職員のパアのはずだったのが、旦那が遊んでいる隙に、相方が小説教室に通い始め、小説家となつてしまった。エンターテイメント分野の主な文学賞をいくつかつと、今年は、芸術選奨文部科学大臣賞(文学部門)をとつてしまった。

おかげで、生活は激変。疾風怒濤の日々が始まった。こちらが相方を助けてやらないと日常生活が回らない。主婦というほどではないが、こちらが、フリー

68回 加藤健一・久保田幸郎・斎藤健弥・渡辺千艦・加藤達雄・田中宣男(計6名)

69回 大森ゆかり・岡田尚子・大谷勝美・坂爪征基・鈴木将夫(計5名)



「にいがた文化の記憶」
 會津八一記念館の館長でもある神林恒道(65回)さんの書かれたこの本は、なぜ新潟には加賀百万石の前田家や仙台の伊達家等、大々名の支配地のような文化が育たなかったのか? 徳川幕府の強烈な分割統治により、越後上杉の文化がすり潰され、断片的に今に残ってしまった事を解き明かし、その残った文化がいかに素晴らしいものであるかを具体的な事例を元に書かれ

同窓の本

「にいがた文化の記憶」

富山 修一 (75回)

のPCサポート業でいろいろなレベルのユーザーと悪戦苦闘しながら、家事、経理、車の運転等の、かなりの部分をやらないと、家庭が成立しないようになった。
 ただ、これはこれで結構面白い。人間関係も結構広くなったような気もする。いきなり、「タイに行くぞ」といわれることに

もなれてきた。これだけではつまらないので、昔から続けているソフトテニスをもう少しやりたい。首と腰が悪いので、思い切つてできないところが悔しいが。高校時代の同期の山崎君が誘つてくれている、青山ソフトテニス同窓会の集まりにも何とか時間をつづつて参加したい。

たエッセイ集である。

日本画家の土田麦僊、洋画家の小山正太郎から始まり、新潟高校の校歌を作詞した堀口大学や良寛を世に出した相馬御風。あるいは膨大な歴史資料を駆使し大日本地名辞書を作った吉田東伍や大漢和辞典の諸橋轍次。日本のアンデルセン小川未明。三井物産の創始者で茶人の益田鈍翁。作家では直木賞受賞者の鷺尾雨工や野坂昭如(転校)から丹下左膳の林不忘、NHK大河ドラマ作家の火坂雅志(83回)。日本舞踊では市山流や藤蔭流の流れ。東京オリンピックのポスターで有名な亀倉雄策。と多士済々ではあるが最後は市島春城と會津八一(7回)で締

めくくつている。最初に戻るが、なぜこれらの文化が断片的にしか残らなかったのか? なぜ我々に誇りとして残されなかったのか? を考えさ

「美少女伝説」はかなく哀切な生涯の物語

山田 宏明 (75回)

私は有明台小、関屋中学、新潟高校を経て、1967年、慶應義塾大学文学部に入學、1971年に卒業して、毎日新聞社に入社、34年間、記者などをやり、2005年に社長室次長というポストで退社し、そのあとはベンチャー企業の役員などをしましたが、昨春秋からはフリーライターとして、書評、コラム、雑誌記事などを書いていきます。新潟高校時代は1年生の時8組、2年は10組、3年



は1組でした。作品は、学生運動全盛期の69年ごろの慶應の三田キャンパスの人間模様と、不幸にして1973年に不慮の事故で24歳で他界し、余りにも短い生涯を閉じてしまった「悲運の美少女」の思い出を書きました。作品名は「美少女伝説」はかなく哀切な生涯の物語」といいます。本名で書いています。同世代の方などにお読みいただければうれしいです。高名な文芸評論家の秋山駿さんの「推薦の辞」をいただきました。(出版社は世界書院。定価は税込み1050円。224ページ。新書サイズ。)

現役の活躍

「アジアアカデ選手権大会参加報告・お礼」

2年 風間 はづき

3月2日〜9日、タイ王国バンコク市で行われた、2011

年アジア・ジュニア・カデ・フェンシング選手権大会に、女子サーブル4名の日本代表選手の一として参加しました。多くの方々に応援していただき、また、青山同窓会から激励金を頂戴し、本当にありがとうございました。

今回の大会での経験や反省点、コーチに教えていただいたことを、今後にかけるように、ひとつひとつの動作を意識しながら練習に取り組みたいと考えています。また、これは基本的なことだから技術的なことまでを見直す良いチャンスだと思つて、初心にかえる気持ちでこれからまたがんばります。

個人戦は予選プール1勝5敗、団体トーナメント戦は日本負対イラン勝という結果でした。サーブルは、上半身全体が有効面で、「突く」というよりは「切る」という感じで、相手からポイントをとります。海外での試合はこれが初めてで、外国人の選手はどんな動きをし、どんな試合運びをするのか全くわからず、とても緊張しました。しかし、それよりも試合が楽しみでなりません。結果は決して満足のいくものではありませんでしたが、外

国の方と直接試合ができて良い経験となりました。ですがやはり負けたことはとても悔しく、こういう場でもつと通用するような選手になりたいと強く思いました。

7月下旬の北東北総体に出場することになったので、OB等の方々にご指導をいただき、より強くなって、新潟高校の名に恥じないような試合をすることができるよう、精進していきたくと思います。



平成 23 年度新潟高等学校県総体結果

- 1 陸上競技

男子：400 m	第 6 位 水戸部慶彦 (北信越大会出場)
4 × 400 m R	第 6 位 齋藤悠太郎 小池祐太郎
棒高跳	本間健太郎 水戸部慶彦 (北信越大会出場)
女子：800 m	第 6 位 小柳 篤也 (北信越大会出場)
	第 3 位 広田 有紀 (北信越大会出場)
	第 4 位 石川緋呂子 (北信越大会出場)

- 2 バスケットボール

男子：2 回戦敗退	
女子：1 回戦敗退	

- 3 サッカー ベスト 16

- 4 ラグビー 2 回戦敗退

- 5 バレーボール

男子：2 回戦敗退	
女子：2 回戦敗退	

- 6 テニス

男子：団体戦ベスト 8	
女子：団体戦ベスト 8	
ダブルス ベスト 8	
シングルス ベスト 32	

- 7 ソフトテニス

男子：団体戦ベスト 16	
個人 4 回戦敗退	
女子：団体戦 1 回戦敗退	
個人 3 回戦敗退	

- 8 卓球

男子：学校対抗ベスト 8	
女子：学校対抗ベスト 8	
ダブルス (田上・早福) 6 位 (北信越大会出場)	
シングルス 11 位 田上 真実 (北信越大会出場)	

- 9 弓道

男子：個人 準決勝進出	団体 3 回戦敗退
女子：個人 1 回戦敗退	団体 3 回戦敗退

- 10 柔道

男子：団体予選リーグ敗退	
個人戦 73kg 級	第 5 位 柄澤 友幹 (北信越大会出場)
60kg 級	第 5 位 渡邊 勇紀 (北信越大会出場)
女子：団体 5 位	

- 11 剣道

男子：団体予選リーグ敗退	個人：ベスト 32
女子：団体予選リーグ敗退	個人：2 回戦敗退

- 12 空手道

男子：団体組手 2 回戦敗退	団体形 1 回戦敗退
女子：団体組手 1 回戦敗退	団体形 1 回戦敗退
個人組手 2 回戦敗退	個人形 1 回戦敗退

- 13 フェンシング

男子：学校対抗	第 2 位
個人 フルーレ	第 3 位 松岡 将貴 (北信越大会出場)
エペ	第 1 位 吉田 紘大 (北信越・全国大会出場)
サーブル	第 1 位 中村 優志 (北信越・全国大会出場)
女子：学校対抗	第 1 位 (北信越・全国大会出場)
個人 フルーレ	第 1 位 古俣 潮里 (北信越・全国大会出場)
	第 3 位 渡辺 優香 (北信越大会出場)
エペ	第 1 位 古俣 潮里 (北信越・全国大会出場)
サーブル	第 1 位 風間はづき (北信越・全国大会出場)

- 14 ボート

男子：シングルスカル	第 4 位
ダブルスカル	第 4 位
クォドルプル	第 2 位 山田 恵之・菊池 優樹・八幡雄次郎
	片山 泰良・橋場 良太 (北信越大会出場)
女子：シングルスカル	第 2 位 中野 杏子 (北信越大会出場)
クォドルプル	第 1 位 高橋 萌子・山本 瑞希・拝野 優佳
	和田 郁・岩田 彩希 (北信越・全国大会出場)

- 15 山岳 男子：優秀校



母 校 は 今

平成 23 年度入試結果

進路指導主事 平山 剛

<平成 23 年度入試概況>

平成 23 年度入試は不安定な経済情勢や学生の就職難、さらに東日本大震災などの影響を大きく受けた特徴的な入試となりました。

1 月に実施された大学入試センター試験では昨年平均点が低かった数学 I A、物理等の平均点が上昇しました。この結果、全国的には文系・理系(900 点満点)の平均点が両方とも上昇しました。特に理系は、物理 I で大きく平均点が上昇したことから、文系以上に高い伸びを示しました。

本校生徒の結果を見ると、昨年度の全国平均点と本校生徒平均点との差を今年の差と比較してみると、文系は 1 点の上昇が見られましたが、理系の方は 14.8 点下がりました。これは数学 I A 及び物理 I の平均点が大きく上昇したために、全国の受験生も安定して得点し、大きく差をつける事ができなかったということです。記述力を重視している本校にとっては、センター試験の易化は決して喜ばしいことではないことが分かります。以下に本校生徒が特に成果を挙げた点についてご報告します。

<平成 23 年卒業生の進学状況>

①難関大学(東大、京大、一橋大、東工大、国公立医学科及び旧帝大)の合格者が 72 名となっています。過去 5 年では(75 → 62 → 71 → 80 → 72)のように推移しています。

②国公立医学科の現役合格者が 19 名となり、昨年並みの成果を残しました。過去 5 年間の推移は(13 → 10 → 16 → 22 → 19)となり、私大の医学科を含めると現役で 21 名が医学部・医学科に進学しました。

今年はセンター試験後の授業形態を工夫し、大学別の演習を行ったことが成果を挙げた一因だと考えられます。このことにより東京大学の合格者数は過去 5 年で 10 → 6 → 10 → 4 → 7 となり、文 I で 3 名、後期で 1 名の合格者を出すことができました。旧帝大すべてに合格者を出したことも特筆に値します。

今後も東大で現役合格 2 桁を目指すことが課題となります。

進学率は昨年度 68.6% から 58.4% に下がりましたが、不安定な社会情勢や、自然災害の影響を考慮せざるを得ない状況もありました。難関大学へ積極的に出願したものの力が及ばなかった生徒、合格を勝ち取りながらも、さらに上を目

指す生徒も多く見られました。これらの生徒達には昨年同様、手紙を送って激励していきたいと思っています。

医学部医学科で昨年並みの成果を挙げることができた要因は、メディカルコース(医療系希望者コース)での学習、講演会、大学訪問を通じて絶えず動機づけがなされたことが考えられます。

さらに医学科の場合、全国的な医師確保対策により定員が増えていることと、全国展開での出願により国公立医学科の合格者数を昨年並にすることができました。新潟大学を始め、東北大、大阪大、その他の医学科の合計は 19 名となりました。現役合格 30 名を目指して今後とも取り組んでいきます。

<最後に>

今年の卒業生はセンター試験の好成績を受け、難関大に積極的に出願しました。自分の可能性を信じて、もう一年準備する生徒もいます。現役進学者数を増やすべく、私たち職員は今後とも生徒の学力強化に努めて参ります。

同窓会の皆様方からのご支援もよろしくお願いいたします。

主な大学合格者数 (現役合格者延べ数)

大学名	主な国公立大学 合格者数				
	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年
北海道大	15	10	9	11	10
旭川医科	5	0			0
東北大	22	28	24	29	22
秋田大	3	1		0	1
山形大	0	2	2	3	3
筑波大	5	4	7	8	6
埼玉大	4	1	1	1	1
千葉大	8	7	10	6	5
東京大	10	6	10	4	7
東京外語大	1	5	3	2	6
東京学芸大	2	8	6	8	4
東京工業大	4	3	2	4	1
東京農工大	1	3	1	2	1
お茶女子大	2	0	5	1	2
電気通信大	0	1	2	0	
一橋大	1	2	3	5	5
横浜国立大	7	4	9	1	7
新潟大	69	84	65	50	52
長岡技科大		1			1
富山大	2	3	2	1	4
金沢大	5	9	7	4	8
信州大	0	1	3	4	0
静岡大	1	0			
名古屋大	1	0	1	1	1
京都市大	6	4	3	6	7
大阪大	5	1	3	3	2
神戸大	3	1	2	1	0
九州大	1				1
首都大東京	4	4	3	4	7
横浜市立大	2	2	2	2	1
新潟県立大			7	6	5
静岡県立大	2		1	0	0
大阪府立大	1	0	1		1
大阪市立大		1	1		
その他	14	17	12	9	12
合計	206	213	207	176	183

大学名	主な私立大学 合格者数				
	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年
早稲田大	32	34	40	28	30
慶応大	10	15	13	15	13
明治大	36	48	36	40	29
立教大	22	23	28	15	9
法政大	17	29	31	17	13
青山学院大	12	12	12	17	9
学習院大	4	6	2	2	2
北里大	4	5	11	10	3
国学院大	6	2	5	2	1
国際基督教大		5	3	2	
駒沢大	1	3	3	1	2
自治医科大	0	1	0	0	1
上智大	5	5	8	6	4
成蹊大	2	2	5	1	
成城大	4	4	0	1	2
専修大	2	3	10		4
玉川大	2	5		1	
中央大	30	36	33	22	19
津田塾大	6	3	10	5	5
東海大	4	4	3		
東京農業大	5	12	4	4	2
東京理科大	20	27	20	28	11
東京薬科大	4	1		4	
東京女子大	10	5	7	3	3
東邦大	1	2	1	1	1
日本大	7	15	19	8	9
日本女子大	9	2	4	2	7
明治学院大	7	8	4	3	2
文教大	8	7			1
神奈川大	3	2	0		
新潟薬科大	15	5	6	9	6
同志社大	4	4	2	1	2
立命館大	9	20	7	7	15
関西学院大	6	0	1	0	
その他	55	62	46	50	38
合計	362	417	374	305	243

*空白は未受験、○は合格者○

職員の変動

平成二十三年四月

主事 大野 美和 (新津整備部)

学校技術員 中村 広昭 (新潟翠江)

副校長 市川 亮 (市教委管理主事)

教諭 古澤 俊明 (新津南)

荒屋敷 勝成 (佐渡)

藤井 義浩 (高田)

長谷川 暁子 (両津)

登坂 悟 (新採用)

山本 岳 (安塚・松之山)

目黒 孝之 (三条)

渡辺 喜也 (長岡大手)

田中 友二 (長岡明德(午前部))

小川 貴史 (柏崎)

石川 陽子 (村上)

金子 賢太郎 (新採用)

齋藤 裕美 (阿賀黎明)

講師 田上 辰平 (新卒)

養護助教諭 齋藤 智子 (3ヶ月)

副校長 鈴木 重行 (村松高校 校長)

教諭 本間 靖 (佐渡中等)

長谷川 栄一 (三条)

立川 純 (長岡)

丸山 和則 (村上中等)

江川 直人 (新潟江南)

大平 和之 (教育センター)

岡田 淳 (新発田高校 教頭)

笹木 勉 (巻)

藤巻 奈緒 (長岡聾学校)

霜島 健二 (長岡商業)

岩田 裕子 (巻)

桑原 力 (三条商業)

小林 穰 (新潟工業)

養護教諭 小川 純子 (新潟中央)

非常勤講師 山田 義久 (退職)

三木 聖美 (退職)

宮下 正孝 (退職)

大倉 路子 (退職)

阿部 愛 (退職)

事務 事務長 西方 明良 (魚沼振興部部長)

青山同窓会費納入についてのお願い

会費を納入していただきますと、「青山同窓会報」を毎月お届けいたします。申し訳ありませんが、納入のない方には「会報」をお送りすることができなくなってしまう可能性があります。是非、お忘れなくお振り込みください。よろしくお願い申し上げます。

年会費 一口 1,000円

できるだけ二口以上でお願いいたします。

振込先：郵便振替口座

全日制 006500774455 青山同窓会

通信制 005300174207 青山通教部会

同期会を開催される期の幹事の方へお願い

同期会の開催に合わせて、是非、会費納入者の拡大にご協力下さい。早めに、開催の期日を連絡頂ければ、事務局で、同窓会報・会費納入のお願い・振込用紙としてA4サイズが入る角2の同窓会封筒を人数分用意しておきます。よろしく申し上げます。

会報へ寄稿される方へ、原稿字数のお願い

原稿の字数は800字から1,000字の間で書いて下さるようお願いいたします。1,000字以上ですと紙面の関係で載せられなくなることがありますのでよろしく申し上げます。原稿について字、句を修正させていただくことがあります。

表紙題字：小川 和恵(101回) イラスト：池主 憲夫(68回)

平成 24 年新年会のお知らせ

来年の新年会は平成24年2月16日(木)を予定しております。詳細は次号会報に掲載いたします。



青山同窓会120周年名簿作成について

6月上旬に全会員約39,000名の内、物故者、住所不明者を除いた約28,000名の会員の皆様へ住所確認及び個人情報掲載の有無確認のため第一次調査ハガキ(返信×切日7月9日)を送付させて頂きました。6月24日現在、回答ハガキは3,900枚、内名簿予約970部、広告予約15件、今回の発送で新たに住所不明者の方が約3,000名増の13,000名となりました。つまり47%の同窓生が所在不明という事になります。各期幹事様からは事前に情報を頂き反映させて頂きましたが、他にクラブ名簿、同期会名簿等の資料がありましたら情報提供及び名簿購入、広告掲載のご協力よろしく申し上げます。また、調査ハガキの返信につきましても引き続きご協力お願いいたします。

青山同窓会名簿出版事務局

(電) 025(283) 3785

平成 22 年度
 (H 22. 4. 1 ~ H 23. 3. 31)
青山同窓会会費納入者
 (10月より3月末まで納入のもの)

会費を納入していただきますと「青山同窓会報」を毎号お届けいたします。申し訳ありませんが、納入のない方には「会報」を送りすることができなくなってしまいます。
 1口 1,000 円。できるだけ2口以上でお願いいたします。

振込先：郵便振替口座
全日制 00650-7-4455 青山同窓会
通信制 00530-1-74207 青山通教部会

全日制 40回S 8年 鈴木保穂 44回S 12年 小原康作 近藤嘉男 46回S 14年 高橋敬吉 48回S 16年 五十嵐皓太 49回S 17年 逢坂猛男 高橋幸一 坪井清八郎 庭濱博世 50回S 18年 五十嵐喜八郎 岩澤信夫 江口晃武 渋谷健作 51回S 19年 厚地武功 梶井功慎 坂藤井一 52回S 20年 阿部和志郎 斎藤俊栄 飯野邦夫 大谷吾夫 55回S 22年 阿尻威繁 中田直賢 長谷川賢二 56回S 23年 中島顯博 57回S 24年 渡辺好雄 58回S 25年 斉木利重 波田野松 山谷皓榮 59回S 26年 市川鉄夫 小熊英三 神田野藤 河野誠一 中山吉成	吉川文雄 60回S 27年 櫛谷不二男 玄間敏雄 小林庄一郎 高橋篤生 高田榮明 矢川和夫 山崎良一 61回S 28年 石見達夫 金子池弘章 小助川孝雄 丸山通夫 湊秀平 62回S 29年 新保利博 鈴木井德梓 永堀口忠五 堀國川龍彦 63回S 30年 五十嵐健治 小川章博 金林章英 小萩野井一 藤松岡京子 64回S 31年 大倉孝男 斉木幸邦 齐藤正樹 田川周作 早川二稔 65回S 32年 相田部明子 阿藤橋修一 伊大川正元 小尾崎卷啓 尾金井士郎 吉田穂積 吉田穂積 66回S 33年 下川友也 鈴木山忠博 福山口喜利 山喜康 67回S 34年 大高道夫	小野勝義 北場勝也 杉山直久 原敏明 68回S 35年 岡村光郎 河西厚彦 渡辺泰彦 69回S 36年 入山哲郎 岩尾信宏 大森ゆかり 桑原浩夫 菅沼温子 轟田栄次 渡辺国正 70回S 37年 石井幸子 小沢欣光 近藤英明 高尾征夫 71回S 38年 井佐菅高西 早堀山田尚武 山渡辺尚 72回S 39年 青海井又弘 賀菅塚渡辺 73回S 40年 金子田和清 金袖山島健一 田中野節治 樋熊節子 74回S 41年 風木下真由美 笹川枝雅一 戸富澤村慶義 中波多腰一 瀨廣秀	本柳75回S 42年 小原克陽 小村山田正 小篠田木橋川根 皆高皆山吉川 76回S 43年 加近澤藤内橋沢西本村渡 77回S 44年 石神木工佐柴曾田長野生藤山 78回S 45年 木木清高田細 79回S 46年 青山井植大小加鈴高寺豊野前三吉 80回S 47年 伊位大長菊高田松	正一郎三 正紘己子隆昭夫明信郎次 正壽輝定芳雅ひろみ 正樹邦義衛樹雄ひろみ 正一昭平明一則有介司子勝己健夫一榮洋喜志明二弥治一昭生一厚太郎夫美子潤明彦毅子宣人恒美子 正英惠樹 正樹邦義衛樹雄ひろみ 正一昭平明一則有介司子勝己健夫一榮洋喜志明二弥治一昭生一厚太郎夫美子潤明彦毅子宣人恒美子	松森元直子 森岡岡一彦 吉田田力 81回S 48年 石川正昭 鎌田藤田井津間里圭 佐武長深本宮 82回S 49年 青瀬川崎井山小野熊小笹佐澤尻富南吉渡 83回S 50年 相唐熊熊古小櫻佐田登豊西橋船最山横 84回S 51年 青五十今小加佐清関田根山若 85回S 52年 石奥佐志	高橋芳樹 庭野村一 宮松哲也 高崎芳明 吉西千尋 大西千裕 五十嵐修子 長田亮裕 岸竹康康 小戸松康 89回S 56年 池原信平 長谷川綾子 90回S 57年 池元太郎 儀同政宏 91回S 58年 風間まゆみ 95回S 62年 田中真帆 96回S 63年 山岸義晃 103回H 7年 鷲尾英一郎 113回H 17年 渡辺真光 115回H 19年 藤崎雅史 116回H 20年 長谷川絵理 118回H 22年 渡邊義彰 通信制 7回S 40年 内山紀子 9回S 42年 松澤美知子 15回S 48年 小松朝子 18回S 51年 小林和昭 26回S 59年 南雲トミイ 29回S 62年 丸山耕藏 陽田ナツ子 34回H 4年 水落伊一 35回H 5年 武者敏夫 37回H 7年 小熊陽子 39回H 9年 安藤智恵 41回H 11年 今井久枝 44回H 14年 近木雄介 鈴木邦彦 46回H 16年 小柳トミエ
--	---	--	---	--	---	--